

【実践者】

授業者氏名	堀 幸美	学校名	
教科（科目）・領域	社会	対象学年（人数）	小学6年3学期～中学生
実践年月日もしくは期間（時数）	2019年 8月 ～ 日（3時間）		

【実施概要】

1. 単元名(活動名) : 世界、こんなところにもSDGs! ～スリランカ編～					
2. 実施する教科・領域 : 社会（学習指導要領解説 社会参考） よりよい社会の在り方を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、社会的事象についての多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、将来を担う国民としての自覚、世界の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。	3. 学習領域				
		1	2	3	4
	A多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
	Bグローバル社会	相互依存	情報化		
	C地球的課題	人権	環境	平和	開発
D未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加		
4. 単元の目標（評価規準を意識して設定）： ・スリランカに関心を持ち、そこに暮らす人々に思いを寄せながらSDGsに関連付けて考えることで、様々な事象を自分事として捉え、自分に出来ることを考える。					
5. 単元の 評価規準	①知識及び技能	SDGsが『世界が目指している目標』であることを理解する。			
	②思考力、判断力、表現力等	ゲームを通して、人や事象をSDGsと関連付けて考える。			
	③学びに向かう力、人間性等	スリランカの人々に思いを寄せながら、SDGs達成のために自分にできることを考える。			
6. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)	【単元設定の理由】 スリランカを訪れ、そこで現地の人々のために活動をされている方々と出会った。自分と向き合いながら人々の生活を少しでも向上させようと奮闘する青年海外協力隊の皆さん、専門的知識を生かして障がいをもつ方を支援したり、内戦後の地域の人々の自立をサポートしたりするNGO、仕事に誇りをもって教える先生方・・・そして、様々な背景を抱えながらもポジティブに生きようとするスリランカの人々。そんな姿とSDGsを関連付けて考え、自分の身近な生活の中にあるSDGsをも認識することで、SDGsを遠い世界の問題でなく、自分事として捉えるようになる。そうすることで、これからの持続可能な社会の担い手としての市民意識が芽生えたと考え、この単元を設定した。				
	【単元の意義】 「社会的な見方・考え方」は、小学校社会科、中学校社会科において、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を考察したり、社会に見られる課題を把握してその解決に向けて構想したりする際の「視点や方法（考え方）」である。そして、「社会的な見方・考え方を働かせ」とは、そうした「視点や方法（考え方）」を用いて課題を追究したり解決したりする学び方を表す。この発達段階の時期に途上国で生きる『人』に出会わせ、ゲームを通してSDGsと関連付けて考えることにより、「社会的な見方・考え方」が養われ、様々な事象を多角的に自分事として捉える力が培われる単元である。 【児童/生徒観】 (実施クラス決定後記入)				

<p>【指導観】</p> <p>小学校高学年から中学校の時期は、自分独自の内面の世界があることに気づき、自意識と客観的事実との違いに悩み、様々な葛藤の中で自らの生き方を模索しはじめるころである。そうしたときに、他に寄り添い考えることで自己をも見つけ、自他の向上を図るなど、よりよい社会の在り方に関する思考を促し、学習指導要領にも掲げられているように持続可能な社会の創り手としての意識を養うことができる。</p>			
7. 単元計画 (全3時間)			
時	ねらい	学習活動	資料など
1/3	<ul style="list-style-type: none"> スリランカの概要を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ESD で育みたい能力</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分で感じ考える力 </div>	<p>スリランカってこんな国</p> <p>フォトランゲージ</p> <ul style="list-style-type: none"> こんな都市があるのだな 行ってみたいな 楽しそうな国だな 日本と似てるな 日本とは違うな <ul style="list-style-type: none"> もっと調べてみたいな (一つの番号について下調べをする宿題) 	<p>地図・教科書 写真 遊び道具等</p> <p>SDGs 子供向け冊子 SDGs 紹介の動画 アイコン表</p>
2/3 本時	<ul style="list-style-type: none"> ゲームを通し、キーパーソンについてSDGs と関連させて考えながら、身近なところにも SDGs があり自分も関わっていることに気づく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ESD で育みたい能力</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題の本質を見抜く力 </div>	<p>キーパーソンとの出会い～SDGs を考える</p> <p>キーパーソンと出会う</p> <ul style="list-style-type: none"> かわいいな きっとこんな生活だよな 家族は・・・ 学校は・・・ <ul style="list-style-type: none"> プロフィール等を見て確かめる。 <ul style="list-style-type: none"> そうだったのか。 予想より困ったことがあるのだな。 他にもこのような人がいるのかな。 カードゲームを通して『人』と SDGs とを関連させて考える。 <ul style="list-style-type: none"> 応援したいな 何とか助けたいな 友達みたいに感じる ゲームの中で SDGs を身近に感じる。 <ul style="list-style-type: none"> 自分もやってたんだ。 こんなことも SDGs に向かう行動なのだな この人に会ってみたいな。 <p>感想交流</p>	<p>キーパーソンカード プロフィール</p> <p>(資料参照)</p> <p>写真</p> <p>カードゲーム (カード内容は資料参照)</p> <p>感想用紙</p>
3/3	<ul style="list-style-type: none"> キーパーソンに思いを寄せながら、自分で調べてきた SDGs ついてさらに調べ内容を付け加えていく。 SDGs 新聞を作りながら、自分自身のよりよい暮らし方や、SDGs 達成のために自分にできることを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ESD で育みたい能力</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が望む社会を思い描く力 </div>	<p>〇〇さん新聞を作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> 『〇〇さん新聞』を作る。 <ul style="list-style-type: none"> 〇〇さんにこのプロジェクトは必要だね (なぜ必要なのか理由を考えながら) (必要なこと(モノ)についても考える) 自分たちもこんなことができるよ。 	<p>調査のための PC</p> <p>SDGs 新聞のフォーマット</p> <p>SDGs シール</p>

8.本時の展開（1時間目）			
本時のねらい：写真や遊びなどを通して、スリランカに興味・関心を持つとともに、SDGs の概要を理解する。			
過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 20分	<p>スリランカについて興味・関心を持つ</p> <p>「スリランカを紹介します」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図で場所を確認する。 ・日本との位置関係は・・・。 ・自然が豊かだね。 ・楽しそう。 ・行ってみたいな。 	<p>内戦などネガティブな面には触れず ポジティブな面を紹介 体験コーナー設置</p>	<p>地図（地図帳） グーグルアース活用 写真 スリランカグッズ （サリー・サロン・クリケット・新聞紅茶等・・・）</p>
展開① 20分	<p>SDGs の概要を知る</p> <p>「これから、スリランカの人々の生活について見ていきますが、そこでは SDGs を一つの物差しとして考えていきます。」</p> <p>「SDGs って何だろう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs について子ども向けの動画を視聴 ・冊子を読み合わせながら説明する。 ・世界には問題がたくさんあるな。 ・日本はどうだろう。 ・スリランカの人とどんな関係があるのかな。 ・もっと調べてみたいな 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分事としてはまだ捉えなくてよい（2時間目以降） <p>幾つかの目標に絞って確認する</p>	<p>SDGs 子ども向け動画 字幕プリント配布 SDGs 啓蒙冊子</p> <p>『私たちが目指す世界』（セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン）</p>
まとめ 5分 中学生 10分	<p>「どの番号の目標に関心がありますか？それはなぜですか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貧困の様子をTVで見たことがあるよ。 ・学校に行けないってきいたことがある。 ・日本にも課題があるの？ <p>「興味のある目標について、内容を1つ調べましょう。」（宿題） （中学生は事例も調べてくる）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サイト URL 書籍紹介 	<p>宿題用ワークシート（資料参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に意欲的に取り組めるよう選んだアイコンシール配布

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
<p>8. 本時の展開 (2時間目)</p> <p>本時のねらい: キーパーソンの現状について SDGs と関連させて考えながら、SDGs は自分の身近な問題ともつながっていることに気づく。</p> <p>導入① 10分</p>	<p>「キーパーソンとの出会い」</p> <p>「スリランカの人々についてフォトストーリーを作しましょう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんな生活かな。 ・家族は・・・。 ・学校は・・・。 <p>「出会ったのは、こんな方々です」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちと違うね。 ・共通点もあるよ。 ・話してみたいな。 <p>同一人物</p>	<p>教師が出会った人々をグループに一人紹介する</p> <p>1人一枚、テーマ別に分けた写真を担当する</p> <p><u>テーマ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・顔写真 ・家族 ・服または食 ・学校または地域の景色 	<p>① サロミ (女10) ② キサン (男12) ③ ディネミ (女7) ④ ラクシカ (女17) ⑤ チャーマラ (男30) ⑥ モーヘン (男35) ⑦ スワンナラタ (女42) ⑧ アミシャ (女18) ⑨ コーサラ (男38) ⑤～⑨は中学生のみ</p> <p><u>プロフィール内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・名前、年齢 ・暮らしについて (本人が話す形) ・夢、宝物、学校 ・好きなこと、もの
<p>展開 25分</p>	<p>「カードゲームをしましょう。」</p> <p>自分のキーパーソンにつながるSDGsを考えよう!</p> <p>自分のキーパーソンに関係ありそうだと思うSDGsカード(プロジェクト・活動・行動と番号のアイコンが書いてある)を集め、枚数が一番多かった人が勝ち!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんはどの目標と関わりがあるかな。 ・この行動なら、自分もしている。 ・このようにして目標達成に向けて動いているのか。 	<p>【ESDの視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題の本質を見抜く力 ・自分が望む社会を思い描く力 	<p>カードゲーム (詳細は資料参照)</p>
<p>まとめ 10分 中学生 15分</p>	<p>「感想を交流しましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全く違う国の人でも、SDGsと関連させて考えてみると繋がっている。 ・自分もSDGsにつながる行動をしていた ・小さな行動がSDGs達成に繋がる。 		<p>感想用紙</p>

<p>8. 本時の展開（3時間目）</p> <p>本時のねらい：スリランカの人々に思いを寄せながら、自分自身とSDGsとのかかわりに気づき自分にできることを考える。</p>			
過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
<p>導入① 10分</p>	<p>「スリランカの〇〇さんについて新聞を作って皆に紹介しましょう」</p> <p>フォーマットの説明を聞き新聞製作に意欲をもつ。</p> <p>〇〇さんのことに思いを寄せながら、SDGsと関連させた新聞を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんのことをどうやって伝えようかな ・〇〇さんに、このアイコンは欠かせないな 	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間でまとめやすいようフォーマットを配布 	<p>新聞フォーマット（資料参照）</p>
<p>展開 30分</p>	<p>新聞を作成しながら、自分自身とSDGsとのかかわりにも触れ、自分にできることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんの生活にとって必要な、こんなプロジェクトを紹介しよう。 ・自分の行動も、実は〇〇さんとこんな形につながるよ 		<p>アイコンシール 写真 記事</p>
<p>まとめ 10分 中学生 15分</p>	<p>グループで簡単に発表しあう。</p> <p>教室や廊下に掲示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほかの学年の人にも伝えよう 	<p>自分が選んだアイコンと〇〇さんの関係自分との関連性を発表しあう（小学生は感想交流でもよい）</p>	
<p>9. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スリランカに関心を持ち、そこに暮らす人々に思いを寄せながらSDGsに関連付けて様々な事象を自分事として捉え、自分に出来ることを考えることができたか。 <p>（評価方法：ゲーム内での発言聞き取り・感想交流・成果物（〇〇さん新聞））</p>			
<p>10. 学習方法および外部との連携</p> <p>JICAスリランカ事務所</p>			

11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み
出前授業、全校集会等で教材を実践。JICA研修員訪問等

【自己評価】

12. 苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・取材した人の情報を子ども向けに整理する場合の表現方法 ・ODA,NGO,個人レベルそれぞれの活動を SDGs と関連付ける際、どのアイコンと関連するのかを考える作業
13. 改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・低位の子どもが積極的に参加できるようにするため、SDGs カードの内容を平易にする必要がある。 ・カードの難易度のバランスを考える必要がある。
14. 成果が出た点	<ul style="list-style-type: none"> ・同年代の子どもたちをキーパーソンとしたことで、共感的理解を得やすく、寄り添って考えることができた。 ・目標を達成するための活動として、参加型のカードゲームを取り入れたことで、世界の問題である SDGs を自分事として捉えるようになった。
15. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs ゲームを楽しみながら、少しでも自分事として感じながら仲間とともに話し合っ、世界の国々では色々な環境・生活の中で暮らす人々がいることを知っていくことができた。 ・フォトストーリーもカードゲームも、正誤にこだわらず多様な視点で考えることで主体的に取り組めた。また、不明な点は自分で調べたいという意欲にもつながった。 ・ただ『世界にはまだまだ困っている人質がいるよ』と言われてもピンとこなかったが、ゲーム的要素の中でさんかしていくことにより、楽しく SDGs を学ぶことができた。 <p>(いずれも、教員研修参加者の感想より)</p>
16. 授業者による自由記述	<p>途上国(今回はスリランカ)で生きる『人』に出会わせ、ゲームを通してその人に寄り添いながら SDGs と関連付けて支援を考えることにより、「社会的な見方・考え方が養われ、様々な事象を多角的に自分事として捉える力が培われる単元としてこの教材を作成した。</p> <p>ここでのポイントは『同年代の人との出会い』そして参加型のゲームを通してその人に共感し、寄り添いながら支援を考える。そのような活動の中で SDGs を身近なものとして捉えていく。</p> <p>また、汎用性のある教材も意識した。例えばこの「スリランカ」という国を他の途上国に置き換え、そこで暮らす人々と、そこで活動する ODA, NGO を取り入れたカードを作成すればよい。</p>

参考資料：

『私たちが目指す世界』(unicef 等共同作成ハンドブック)

JICAスリランカ事務所PPT

JICA北海道教師海外研修スリランカ フィールドワークでの取材